

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 2

1970. 6. 20

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛 (TEL 092-64-1101)
内線 5337

◇ センターニュースの発行について

利用者へセンターからの種々の情報を速報で通知していましたが、発行が不定期でありニュースとしては、かなり、遅れたものが掲載される事もあつたと思われま

す。つきましては5月より速報を廃止し、今後はセンターニュースとして情報を早く利用者

に知らせるよう努力するつもりですので本欄をかり、速報をセンターニュースとして変更発行するよう広報教育委員会で決定し、すでにNo.1を発行しましたことを通知いたします。

広報教育委員会委員長

◇ リモートパッチの実験的使用再開について

本センター移転等にもないセンター内端末を使用してのリモートパッチの実験を中断していましたが、下記の要領で実験的使用を再開いたしましたので、お知らせします。

(1) 運転期日 毎週 火曜 9:00~12:00

土曜 13:00~17:00

(2) 申込方法 毎週使用前日までにセンター第2受付(5階)に申し込むこと、

(3) システムの状況

ユーザー領域 40K

使用端末 F1592Aけん盤および紙テープ送信

使用方法 ジョブ処理

ファイルの作成

◇ 出張利用について

センターの出張利用について、旧来デバックランのジョブ数を制限し優先処理の取扱いをしていましたが、今年からジョブ数の制限と優先処理を止めましたので、滞在期間(最高3日)のうちでデバックを実行して下さい。

センター内の利用手続きは2階第1受付にカードデスクを提出して下さい。

私用ファイル（共用ボリューム）の開放

6月22日よりセンターのディスク装置の一部を共用ボリュームとしてテストの意味で利用者に開放します。この措置はファイル装置増強までの仮措置です。本格的な開放はその時までお待ちください。

EB（実行形式プログラム）ファイルの登録利用はデータだけ変えて計算している利用者には
便利ですし

RB（相対形式プログラム）ファイルの登録は
未完成のプログラム単位だけカード入力しながらデバックができるので便利です。

利用方法について以下に述べます。

[1] 利用に際しての制限

1. 登録できるファイルの個数 1コ（RBかEB）/利用者あるいはグループ

2. ファイルの大きさ ◇ RB・・・60トラック
EB・・・40トラック
)/利用者

◇ RBかEB 200トラック/グループ

注)・カード枚数とトラック数は換算表参照

・利用者・・・1課題番号（複数個もつている時にはその中の1つに対してのみ）

・グループ・・・大学、部局、学科、教室単位

・利用者とグループの兼用はできない。

・40-利用者
10-グループ
の登録を考えています。

3. ボリュームの割り当て方法

利用者・・・先着順が原則ですが多い場合はセンターが決定します。

グループ・・・登録するカード枚数、センター利用状況、センターとの距離を割り当て基準とします。

4. 保存期間

学内利用者の場合 登録日より40日

学外利用者、グループ 登録日より2ヶ月

5. ファイル名のつけ方

英数字と・(ピリオド)からなる18文字以内の文字列(ただしピリオドとピリオドの間の文字数は8文字までです)

利用者の場合下位5文字は課題番号下5桁を必ず使用してください。

(例) 利用者 QDAi.USER.00000
 (グループ NAGASAKI.UNiV.FILE

実際のファイル名は RBの場合 QU.RB. _____
 EBの場合 QU.EB. _____ となります。

6. ジョブ種別での制限

ジョブ種別	A	B	C	D	
登録	X	○	○	○	○ できる
追加	X	○	○	○	× できない
削除・消去	X	○	○	○	
実行	○	○	○	○	

7. 障害処置

ファイル処理したジョブでトラブルが生じていると思われるものは必ずプログラム相談員に連絡してください。当分の間は再登録を行なつて貰う事になります。

今回の措置で利用者の方々からあがつて来た障害を検討して本格的な開放までにはファイル・プロテクト、リカバリに対する最善策を講ずるつもりです。

8. 換算表 (FORTRANの場合の目安にして下さい)

ソースカード枚数	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	5000	1000枚増加する度
RB (トラック数)	11	18	26	33	41	48	56	63	78	+ 15
EB (トラック数)	13	18	21	24	28	32	35	39		+ 8

[2] 利用手続

利用者・・・最初の登録の時のみ利用ファイル登録申込書を提出してください。

グループの場合・・・利用前に代表者が私用ファイル利用申込書を前もつて提出してください。許可が降り次第利用できます。

[3] 利用方法

1. 次のコントロールカードが用意されています。

- ◇ 登録のため \$ { $\begin{matrix} RB \\ EB \end{matrix} \}$ C A T A L O G
- ◇ 追加のため \$ { $\begin{matrix} RB \\ EB \end{matrix} \}$ A P P E N D
- ◇ (削 除 \$ { $\begin{matrix} RB \\ EB \end{matrix} \}$ D E L E T E
消 去
- ◇ ファイルの \$ F L D E F I N E
定 義
- ◇ 結合、実行 \$ L I E D , \$ L I E D R U N . \$ R U N

① RBファイル処理マクロ

内 容	マクロ名	パ ラ メ ー タ
登 録	\$RBCATLÖG	FLNAME=ファイル名 _____ 全内容登録 (注) ,ELMNAME=(エレメント名, ...) _____ あるエレメント登録
追 加	\$RBAPPEND	FLNAME=ファイル名 _____ 全内容追加 ,ELMNAME(エレメント名, ...) _____ あるエレメント追加
削 除 消 去	\$RBDELETE	FLNAME=ファイル名 _____ 全内容消去 ,ELMNAME=(エレメント名, ...) _____ あるエレメント削除
ファイル 定 義	\$FLDEFINE	(注) FDNAME=ファイル定義名, FLNAME=ファイル名

② EBファイル処理マクロ

内 容	マクロ名	パ ラ メ ー タ
登 録	\$EBCATLÖG	FLNAME=ファイル名 _____ 全内容登録 (注) ,EBNAME=(実行形式プログラム名, ...) _____ ある実行形式プログラム登録
追 加	\$EBAPPEND	FLNAME=ファイル名 _____ 全内容追加 ,EBNAME=(実行形式プログラム名, ...) _____ ある実行形式プログラム追加
削 除 消 去	\$EBDELETE	FLNAME=ファイル名 _____ 全内容消去 ,EBNAME=(実行形式プログラム名, ...) _____ ある実行形式プログラム削除

③ RB, EBファイル共通(従来のLIEDRUN, LIED, RUNにパラメータが追加された。)

内容	マクロ名	パラメータ
結合	\$LIED	[NOLIST][,MAP][,ELMNAME=実行開始プログラム名] ^{注)} [,EBNAME=実行形式プログラム名] 従来のもの
実行	\$RUN	[ERR=n,] _____ 従来のマクロ FLNAME=ファイル名, EBNAME=実行形式プログラム名 [,EXQTNAME=ステップ名] ^{注)} [,COND=×] ^{注)} [,LP=打切りページ数] ^{注)} [,TIME=打切り時間(SEC)] ^{注)} [,CORE=mK] ^{注)}
結合 実行	\$LIEDRUN	[NOLIST][,MAP][,ERR=n][,ELMNAME=実行開始プログラム名] ^{注)} FLNAME=ファイル名[,EBNAME=実行形式プログラム名] 従来のマクロ

注)

1. エレメント名、ファイル定義名、実行形式プログラム名、実行開始プログラム名、ステップ名、は英字で始まり、総文字数が8文字以内の英数字列
2. EXQTNAME=ステップ名
\$RUN...
\$RUN...
という風に\$RUNを複数個続ける時、異なつた名前をつけてください。
例
3. COND=× この\$RUN以前のジョブステップでエラーが発生してもこのジョブステップを実行したい時に指定してください。指定がなければジョブの実行はエラーが発生したジョブステップで終了します。
4. LP=m' このジョブステップの出力枚数をm'枚で打ち切ります。指定がない時にはセンターで定めた値が入ります。
5. TIME=m'' このジョブステップをm''秒で打ち切ります。指定がない時にはセンターで定めた値が入ります。
6. CORE=mK 実行時のプログラムの大きさを指定してください。指定がない時には CORE=32Kとなります。

2. 利用時の注意

- ① RB, EBの登録はカード枚数とトラック数換算表で目安を立てて制限大きさの範囲で行なつてください。
- ② 登録、追加後の使用トラック数

CŌNTRŌL CARD AND ERRŌR MESSAGE LIST EDIT FIN TRACK SUUWA ... <u>999</u> TRACK DESU=X=
--

のようにLP用紙にトラック数がでて来ます。

2ヶ所ある場合には後の方が実際のトラック数です。

- ③ 正常終了、異常終了

完了コードが000の時のみ正常終了です。

000以外の時はすべて異常終了ですので、ファイルの大きさの制限以内かどうかなどを調べて、原因がつかめない時には速やかにプログラム指導員に連絡してください。

3. 利用例 (これ以外のものについてはジョブマクロをよく理解して使用してください。)

- ① RBの場合

- (1) 登録

\$NŌ

\$QJŌB

\$FŌRTRAN

FOTRAN ソースプログラム

①

\$RBCATLŌG FLNAME=A.00100,ELMNAME=(A,B,C,D)

\$LIEDRUN

データ

\$JEND

- (2) 実行

\$NŌ

\$QJŌB

\$FŌRTRAN ①

FORTRAN ソースプログラム

①でコムパイルしたRBの内エレメント名A,B,C,Dのものだけ登録後実行する。
全内容登録の場合, ELMNAME以後は不要

①でコムパイルしてできたRBと①の中でCALLしているRBをA.00100の中から選び出して結合後実行する。

```
$LIEDRUN MAP,FLNAME=A.00100
```

```
データ
```

Ⓜ

```
$JEND
```

ただし①、Ⓜに同一の
レメント名がある場合に
は①の方が優先して組み
込まれる。

(3) 他の利用者が登録しているファイルを利用しての実行

```
$N0
```

```
$QJOB
```

```
$FORTRAN
```

①

```
FORTRAN ソースプログラム
```

```
$LIED MAP
```

```
SGMT セグメント名
```

必ずかいてください

```
SELECT RELBIN
```

①でコンパイルしてでき
たRBとA.00100,
B.00200,C.00300 の
ファイル中の全RBとを
結合後Ⓜで実行する。

```
SELECT fdname1, fdname2, fdname3
FIN
$FLDEFINE FDNAME=fdname1, FLNAME=A.00100,
$FLDEFINE FDNAME=fdname2, FLNAME=B.00200
$FLDEFINE FDNAME=fdname3, FLNAME=C.00300
```

Ⓜ

ただし①Ⓜの中に同一の
エレメント名がある時に
はエラーとなる。

```
$RUN
```

Ⓜ

```
データ
```

```
$JEND
```

(3)のⓂの部分のSELECT文を変更する事によつて次の事もできる。

◇ fdname1, fdname2, fdname3 の特定エレメントのみ組み込みたい場合

```
SELECT fdname1(A,B,C), fdname2(H,J), fdname3(X,Y)
FIN
```

◇ fdname1, fdname2, fdname3 の特定エレメントを組み込みたくない場合

```
SELECT fdname1, fdname2, fdname3
DELETE fdname1(A), fdname2(E,F), fdname3(X,Y,Z)
FIN
```

- 注) 1. セグメント名は8文字以内の英数字(ただし先頭は英字)
 2. fdname(ファイル定義名)は8文字以内の英数字(ただし先頭は英字)
 3. LIEDの制御文については「230-60LIED文法編」を参照してください。

② EBの場合

(1) 登録

```

$N̄
$QJ̄OB
$F̄ORTRAN
  F̄ORTRAN ソースプログラム
$LIED EBNAME=Q.CENTER, ELMNAME=ABC...①
SGMT   セグメント名
SELECT RELBIN
FIN
$EBCATL̄OG FLNAME=A.00100   —————②
$JEND
  
```

①で実行形式プログラム名をQ.CENTERとし実行開始エレメント名をABC(注)としてEBを作成し、②でA.00100というファイル名のファイルに登録する。
①のEBNAME, ELMNAMEを省略するとそれぞれ PR̄OGEXQT PRG.MAINとなる。

注) 実行開始エレメントのEND文には必ず実行開始番地を書かなければならない。

```

      ELEMENT   ABC
START
END   START
  
```

↑エレメント

左のようにしておき(1)の①のような指定をするとABCのSTARTから実行される。

(2) 追加実行

```

$N̄
$QJ̄OB
$F̄ORTRAN
  F̄ORTRAN ソースプログラム
$LIED EBNAME=Q.CENTER1, ELMNAME=XYZ ①
SGMT   セグメント名
SELECT RELBIN
FIN
$EBAPPEND FLNAME=A.00100   —————②
$RUN FLNAME=A.00100, EBNAME=Q.CENTER1 ③
  データ
$JEND
  
```

①で作成した実行形式プログラムを②でA.00100のファイルに追加し③で実行する。

(3) 登録したEBの実行

\$N̄

\$QJ̄OB

\$RUN FLNAME=A.00100,EBNAME=Q.CENTER,EXQTNAME=A —————①

データ 1

\$RUN FLNAME=A.00100,EBNAME=Q.CENTER,EXQTNAME=B,C̄OND=× —————②

データ 2

\$RUN FLNAME=A.00100,EBNAME=Q.CENTER1,EXQTNAME=C,C̄OND=× —————③

データ

⋮

\$JEND

①と②はデータを変えて

③は実行形式プログラム

を変えて実行する例である。

私用ファイル〔登録〕申込書

年 月 日

課題番号		登録名		氏名	
連絡先	□□□ - □□				
	市外局番()-()-()内線()				

私用ポリユーム利用者のみ記入してください。

JOB番号		使用言語	<input type="checkbox"/> FORTRAN <input type="checkbox"/> ALGOL <input type="checkbox"/> その他()			
	ポリユーム番号	ポリユーム通番	持込み ¹⁾	テープサイズ	返却 ²⁾	保管期限・備考
磁気 テープ						
磁気 ディスク パック						
使用法						

私用ファイル登録者のみ記入してください。

型式	<input type="checkbox"/> SOURCE <input type="checkbox"/> RB <input type="checkbox"/> EB	登録年月日*		有効年月日*	
ファイル名					

(登録者の中でグループで利用する人のみ記入してください。)

登録 カード枚数		利用者数	
-------------	--	------	--

備考	
----	--

センター記入

受付番号	*	受付年月日	*	担当者	*
------	---	-------	---	-----	---

- 注) 1) 持込みポリユームのみ「○」印をつけてください。
 2) 返却を希望するポリユームのみ「○」をつけてください。
 3) 「*」はセンターが記入します。

端局設置のための資料

9月よりTSSのテストランを開始する予定ですが、これに先立つて、端局設置希望者を公募致しましたが、種々の問い合わせが来ておりますのでその概要をお知らせします。

(1) 端局の機器

使用できる機器は50ポター(375文字/分)オンラインタイプライターF1592(通称JP1500)です。

F1592の価格、性能および回線借用料については、付録を参照して下さい。

(2) 入 力

JP1500より鍵盤入力

紙テープ入力が可能です。

(3) 出 力

1. 端局のJP1500(ロール紙、さん孔紙)
2. センターのラインプリンタ

へ端局からの指定で選択できます。

(4) 端局より依頼できるジョブ

1. リモートバッチジョブとして

現在バッチジョブとしてセンターに依頼しているものはすべてできますが、実験期間中は次のようにリモートバッチジョブの制限をします。

- ◇ CPU時間.....1分以内
- ◇ 実行時のコア容量.....32K語以内
- ◇ 出 力.....センターのラインプリンタへ出力する場合

.....30ページ以内

端局のJP1500へ出力する場合

.....300行以内

2. デマンドジョブ

端局より会話形式で計算がやれる BACCUS

端局よりファイルの編集等ができる LINED

の2つの処理プログラムが用意されていますが、どの程度使用可能かは現在未定です。
はつきりし次第追ってお知らせします。

(5) 運用方法

テストラン期間中は以下の運用をします。

1. T S S の時間帯を別にもうけてその時間のみ端局よりジョブの依頼が可能です。
2. システムにトラブルが生じた時には端局より再入力しなければなりません。
3. 負担金の徴収は致しませんが、T S S についての資料収集のため、種々のデータの提出をお願いする事になると思います。

(6) 端局利用の説明会

センターではテストラン開始前に端局設置が認可された方々を対象として、端局利用の説明会を開催する予定です。

付 録

(1) 大学別設置機器接続電信線借上料見込額

区 分	回線数	賃借料月額	賃借月数	金 額	備 考
		円	月	円	
広島大学	1	92,200	12	1,106,400	
山口大学	1	55,400	12	664,800	
九州工業大学	1	27,000	12	324,000	
福岡工業大学	1	17,300	12	207,600	
佐賀大学	1	22,200	12	266,400	
長崎大学	1	49,400	12	592,800	
熊本大学	1	41,400	12	496,800	
鹿児島大学	1	95,000	12	1,140,000	
宮崎大学	1	87,000	12	1,044,000	
大分大学	1	51,400	12	616,800	
九州大学教養部	1	2,000	12	24,000	
計				6,483,600	

(2) オンラインタイプ（J P 1 5 0 0）について

1. 経 費

イ) レンタルの場合.....月額 25,000円

ロ) 買取りの場合.....1,205,000円

上記以外に接地（10オーム程度）経費および回線接続経費が見込まれます。

2. 概略規格

(1) 通 信 速 度 375字/分（50ボー）

(2) さ ん 孔 速 度 けん盤さん孔最大 700字/分

けん盤印字さん孔最大 375字/分

(3) 同 期 方 式 調歩同期方式

- | | | |
|----------------|----------|------|
| (4) 調歩符号構成 | スタート 1単位 | |
| | 情報 6単位 | |
| | ストップ 1単位 | 計8単位 |
| (5) 収容文字 | 122字 | |
| (6) 文字キー | 42キー | 3段 |
| (7) フังก์ションキー | 14キー | |
| (8) 印字数 | 80字/行 | |
| (9) 印刷紙 | ロール紙 | |